

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		3,062	t-CO ₂
（温室効果ガス削減換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑨エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑨合計）		3,062

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	令和 8 年度		
温室効果ガス総排出量	3,027	t-CO ₂	2,967	t-CO ₂	3,062	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			2.0	%	▲ 1.1	%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	令和 8 年度		
原単位当たりの排出量										
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
原単位当たりのみなし排出量										
削減率（対 基準年度）						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和6年度は、基準年度（令和5年度）に比べ来院患者数が増えています。令和5年度は省エネに努めましたが来院患者数が復活した事、猛暑日の増加、コジェネ比率あげのため、エネルギー使用量が相対的に増えてしまいました。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び非化石エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	・ビルマルチエアコンの省エネ運転 室外機の能力を約80%をピークとする運転を行うよう設定。 (夏場の冷房運転時、有効)	運用の継続	ビルマルチエアコンの省エネ運転を実施した
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	・共有エリアのエアコン室内機消し忘れ処置 共有エリアのエアコンでタイマー機能を活用。 一定時間後にOFFするように設定。	運用の継続	エアコンのタイマー機能を活用し、消し忘れを防止した
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	・使用していない部屋や昼休み 時間外の消灯を徹底する。 ・廊下等で可能な所は蛍光灯の間引きを実施する。 ・エントランスホール晴天のときは消灯する。	運用の継続	時間外等の消灯、可能な箇所の照明の間引き、採光による消灯を実施した
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	・パソコン・コピー機の離席時 退出時のスイッチオフを徹底する。 ・パソコンディスプレイの輝度を下げる。	運用の継続	OA機器の未使用時の電源断等を実施した
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	・階段使用の意識付け(資料の掲示) 2アップ3ダウン活動の励行 【例】 2アップ: 1階→3階は階段使用 3ダウン: 4階→1階は階段使用	エレベーター前の掲示を継続する。	階段使用の意識付け資料の掲示を継続した
省エネルギー・省資源 の行動実践・照明	蛍光灯等の照明をLED化する。(平成31年度完了)	約7000本の蛍光灯他各種照明をLED化。	LED照明による運用を継続した
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	令和3年度 病室のエアコンを更新する。 令和6年度 病室のエアコンを更新する。	室内機×285台 室外機×183台 室内機×123台 室外機×30台	令和3年度に更新したエアコンを継続運用した 令和6年度より更新中のエアコンを継続運用した
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	令和3年度冷温水発生機1号機(冷房メイン)をオーバーホール実施。(省エネルギー運転の運用が可能)。 令和6年度冷温水発生機2号機、3号機のオーバーホール実施。	夏季の冷温水発生機1号機重点運用	令和3年秋にオーバーホールした冷温水発生機1号機を、令和5年夏の冷房負荷に対して重点運用した

指針第2号様式

(2) 非化石エネルギーの利用の状況

ア 非化石電気の使用状況

指標	非化石電気の使用状況						目標 (2030年度)	
	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	17.4	%		%		%		%

イ 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における非化石エネルギーの利用状況

非化石エネルギーの使用量	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
k1	t-CO ₂

(3) 未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における未利用エネルギーの利用状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ アのうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	未利用エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(4) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(5) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(6) 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

日

(7) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

- ・職員への環境教育を定期的実施している。
- ・支障のない限り裏紙を利用するなど、紙資源の節約を行っている。

(8) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

- ・ノー残業に努めている。
- ・夜間・休日、エレベーターの運転台数を抑えている。
- ・自動車の利用を控え、可能な限り公共交通機関を利用している。
- ・夜間・休日等、可能な範囲で消灯している。